

連載

株式評論家 山本伸一の

# 兜町スタンダード

■ 一年前を振り返れば活躍期待株が見えてくる！



いよいよ名実ともに新年度相場がスタートした。先週の権利付最終日に金融緩和政策期待の活況高が訪れ、日経平均株価は震災後の高値を更新。権利落ち後はややさえない流れとなったものの、節目意識の高い指数の推移を見る限り、押し目買い意欲は根強いのではないかと。

前回コラムで「業績変化」に着目したスタンスを紹介したが、やはり集計タイミング入りとなる3月期業績の修正発表が行われやすくなるほか、月末からの本決算発表シーズンに向けて「来期の業績予想」にも関心が高まる局面。そこで業績変化の大きいセクター、銘柄に資金が向かいやすくなるだろう。

昨年の今頃を振り返ると、震災発生から被害状況の全貌も見え始め、ちょうど計画停電など電力不足、サプライチェーン問題、リスク回避の円高進行など、日本経済に問題が山積していた。とくに製造業にとっては「陰の極」にあったわけで、今期の収益改善期待が高い。日銀短観でも足元の大企業製造業DIは依然マイナス圏だが、先行きには回復予想が確認されている。

そこで弊社では「製造業」に的を絞った「厳選5銘柄付き市況分析レポート」を発売する。事業環境の好転が期待される業種、銘柄アプローチを提供したいと思う。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。